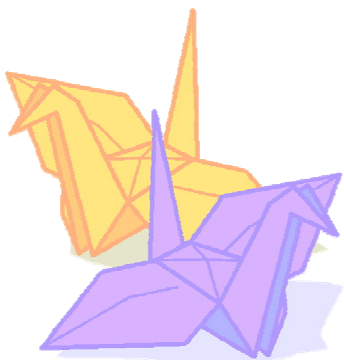




2005-2006 年度
国際ロータリー第 2710 地区ローターアクト
広島ローターアクトクラブ

千羽鶴例会
2005 年 7 月 24 日(日)

事前学習資料



< ご挨拶 >

この度は広島ローターアクトクラブ恒例の千羽鶴例会にご登録いただき、誠にありがとうございます。千羽鶴例会ではよりたくさん学び考えていただきたいと考えております。しかし、大変残念ながら、例会時間が限られているため、ゆっくりと資料館を見学していただくお時間がございません。そこで、広島ローターアクトクラブのメンバーでこの「事前学習資料」を作成いたしました。皆様には是非とも事前に知っていただきたいと思った事柄のエッセンスを凝縮しました。事前にお読みいただき、参考にしていただければ幸いです。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

国際ロータリー第 2710 地区ローターアクト
広島ローターアクトクラブ
2005 - 2006 年度 千羽鶴例会実行委員長

大崎 裕二

< 目次 >

ご挨拶 千羽鶴例会実行委員長 大崎 裕二	2
原爆投下をめぐる全体像	3
「広島平和都市記念碑」について	6
「原爆の子の像」について	7
「原爆ドーム」について	9
「GOD BREATH」プロフィール	11
参考文献	11
おわりに	12

原爆投下をめぐる全体像

原爆被害の因果関係を中心に流れをつかんでみてください。

太平洋戦争の開戦当時(1931・昭和 16)、優位だった日本ですが、ミッドウェー海戦(1941・昭和 17)やガダルカナル島の戦いに敗れてからは、日本の立場が危うくなってきます。日本は本土決戦に備え、広島にも軍事施設をつくるようになります。

ちょうどその頃、アメリカでは「マンハッタン計画」が発足していました。ヒトラーがいるナチスドイツからたくさんの科学者たちがアメリカに亡命し、知識がアメリカに集中しているときのことで、最初、科学者たちはナチスドイツを恐れ、アメリカの核開発に協力しましたが、その後、核のもつ危険性によりアメリカの行っていた研究に反対する立場をとるようになります。しかし、それでもアメリカは核開発を推し進め、科学者たちの反対を押し切るような形で原爆投下を決めることとなります。

アメリカは最初、爆風で効果的に損害を与えることができるなどの条件により、広島、長崎を含む 17 都市を原爆投下目標の候補地として挙げていました。その後、修正が加えられ、最終的に直前には広島、小倉、長崎という優先順位で目標地が決定されました。

1945(昭和 20)年 7 月 26 日、日本は無条件降伏を要求するポツダム宣言を受諾しなかったため、この時点で日本への原爆投下は確実なものとなりました。

そして、1945(昭和 20)年 8 月 6 日午前 8 時 15 分、人類史上初の原子爆弾が広島に投下されました。

その日の広島は快晴。それもそのはずです。原爆投下の以前に広島、小倉、長崎において気象観測機が天気をチェックしていました。7 時 15 分、広島の天気が良好との報告が入り、その瞬間に広島への原爆投下が決定されました。

原爆を積んだ B29 エノラ・ゲイはサイパン島近くのテニアン島から片道 2740 キロ、6 時間半かけて広島に到達しました。エノラ・ゲイは広島市の北東から侵入し、原爆投下後はすぐに、155 度の急旋回し、北へ飛び立っていきました。

広島に投下された原爆は核分裂物質としてウラン 235 が使われました。一方長崎ではプルトニウム 239 が使用されました。原爆投下後、アメリカではトルーマン大統領が 7 日早朝に「広島に原子爆弾を投下したことをラジオで発表しましたが、日本では原爆が原爆であったということは終戦まで知らされていませんでした。単に新型爆弾であったというだけです。

原爆による被害が大きかったものというのは周知の事実ですが、それは 4 つに分類されます。熱線、爆風、高熱火災、放射線の被害が組み合わさり大惨事となったのです。

1、熱線

原爆は核分裂の連続で爆発します。その際に、膨大なエネルギーが発生し、熱を発生させます。原爆は高度約 580 メートルの地点で爆発。その 1 万分の 1 秒後には直径

28メートル、温度は約30万 という火の玉になります。1秒後にはその火の玉が直径280メートルにもなり、温度は5000 となります。それから3秒後には人々が立っていた地面の温度は3000～4000 にもなりました。爆発によって高熱が放射状に広がる、これが熱線というものです。

熱線の被害というのは主には火傷です。しかし、火傷だけでは済みません。高熱であるため「黒焦げになる」つまり炭化してしまいます。それは物だけに限らず、人もそうでした。また、資料館で手をぶら下げ、幽霊のような格好で歩く人の人形がありますが、手の皮膚がはがれてしまっていて、手を下げると指先に血がたまり、激しく痛むため手を前に上げているのです。

瓦の表面が泡状になって固まっているものがありますが、それは地表の温度が高熱になったため表面が溶けているためです。また、人影が残された壁などもありますが、これも熱線の影響です。人がいたところはその人が、人がいなかったところは壁が焦げているということです。

熱線で火傷を負った人は、後になってもケロイドで肉体的にも精神的にも苦痛をおうことになりました。

2、爆風

原子爆弾が爆発すると、熱線で高熱となると同時に急激に気圧が上がります。気圧が上昇することにより爆風が occurred。気圧は数十万気圧といわれています。中心部の気圧が上がることによって、空気は気圧の低い方に逃げていきます。そのため、中心部から外側に向かって爆風が吹くのです。また、爆風がいったん収まった後は、中心部から外側へ逃げていった空気が外側から中心部へと戻ろうとします。それが吹き返しです。

そのような威力を持った爆風は、人々自身をも吹き飛ばしていきました。また、窓ガラスは全て吹き飛ばされ、木造家屋はほとんどが倒壊し、鉄筋コンクリート製の建物が傾いたりしました。壁などに窓ガラスが突き刺さっているのも爆風の影響です。そのような爆風の影響を受けた人の中には、後々まで体内にガラス片等が残ったままであった人もいます。

3、高熱火災

これは熱線による影響です。熱線で地表が高温となったため、いたるところで自然発火が起きました。火の出所はひとつではなく、街全体で同時に火災が発生しました。熱線による影響というのは直接熱線を浴びたことによる火傷などをとりあげましたが、高熱火災というのはその意味では二次災害です。自然災害と結びつけるのは適当ではないかもしれませんが、「火山の噴火」と比べると、噴火にあたるのが熱線で、溶岩が流れ出すのにあたるのが高熱火災といえます。

広島市一帯は、原爆が投下された日の午前10時頃から、午後2時～3時をピークに終日燃え続けました。建物の鉄骨が変形したり、たくさんの物が熱で溶け固まって塊になったりしたというのは熱線の影響というよりも、高熱火災の影響です。長時間高熱で燃え続けることによってピンや金属製の物が溶けてしまいました。高熱火災でたくさんの方が亡くなられました。爆風で倒壊した建物の下敷きになって逃げ場を失い、その間に火の手がまわって亡くなられた方も大勢います。

4、放射線

原子爆弾の特徴ともいえるのがこの放射線での影響です。放射線は外傷がなかった場合にも体内から細胞などを破壊していきます。放射線は目に見えず、また残留放射線が地上に残っていたため、原爆投下の際に広島市にいなかった人の中で後日広島に来た人にも発病しました。死の斑点といって皮下出血斑があらわれ、吐血、脱毛などの症状がありました。

爆発の後、1～2時間後に「黒い雨」が降りました。この黒い雨には放射能が含まれていたため、雨水を飲んだ人は放射線の影響を受けました。また、しばらくは井戸水にも放射能が含まれていました。

体内に長期間残るために後になって発病する人もいました。胎児には知的障害や発育不良などの小頭症があらわれ、ガンや白血病の発病率が高くなりました。「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木貞子さんも、原爆投下の際には無傷であったにもかかわらず、後に白血病を発病して亡くなりました。

放射能の影響を含めた後遺症での肉体的苦痛、また言われなき差別や肉親を失った悲しみによる精神的苦痛、それらは癒えることがなかったでしょう。

原爆によって焼け野原になったとはいえど、広島の復旧作業は驚くべき早さでした。電車に関しては7日に宇品線、8日に広島-横川間、9日に芸備線が開通し、10日には駅事務所が急造されました。7日には宇品方面、8日には広島駅とその一体に電灯がつけました。中国新聞は9日から代行印刷で発行を再開しました。

それでも、完全復旧そして広島の復興には大変時間がかかりました。特に、終戦によって軍が解体されると、復興作業をする人が減ってしまうという事態もありました。

また戦後は食糧難、住宅難に悩まされ、戦争孤児となった子供たちが大勢いました。広島市が復興できた影には本当にたくさんの方が犠牲になったことを忘れてはならないでしょう。

現在、平和記念公園がある場所には、昔「中島地区」とよばれた繁華街が存在していました。原爆はこの地区の上で炸裂し、多くの方が犠牲になり、街も一瞬にして焼け野原になりました。平和記念公園の下にはこの中島地区が眠っているのです。

「75年間は草木も生えぬ」といわれた広島市がこのように復興を遂げ、発展してきたのは喜ばしいことでもあります。しかし、我々自身がやらなければならないことはまだまだありそうです。原爆で亡くなられた方の思いを受け継ぎ、どう現代に反映させていくのか、課題は残されたままだといえるでしょう。

「広島平和都市記念碑（原爆死没者慰霊碑）」について



この碑は、1945(昭和20)年8月6日に世界最初の原子爆弾によって壊滅した広島市を平和都市として再建することを祈念して1952(昭和27)年8月6日に設立されたものです。

1949年8月6日に公布された広島平和都市建設法の第一条には「恒久の平

和を誠実に実現しようとする理想の象徴として、広島市を平和記念都市として建設することを目的とする」とあり、この法により原爆慰霊碑のほか平和記念公園や原爆資料館、平和大橋などの施設が建設されました。

設計者は東京都庁などの設計で知られる丹下健三氏によるもので、はにわの家型につくられており、20万人以上の犠牲者の霊を雨露から守りたいという気持ちを表しています。また、中央の石室には、原爆者死没者名簿が納められており、毎年8月6日を迎える夏に名簿に書き加えと風通しが行われます。

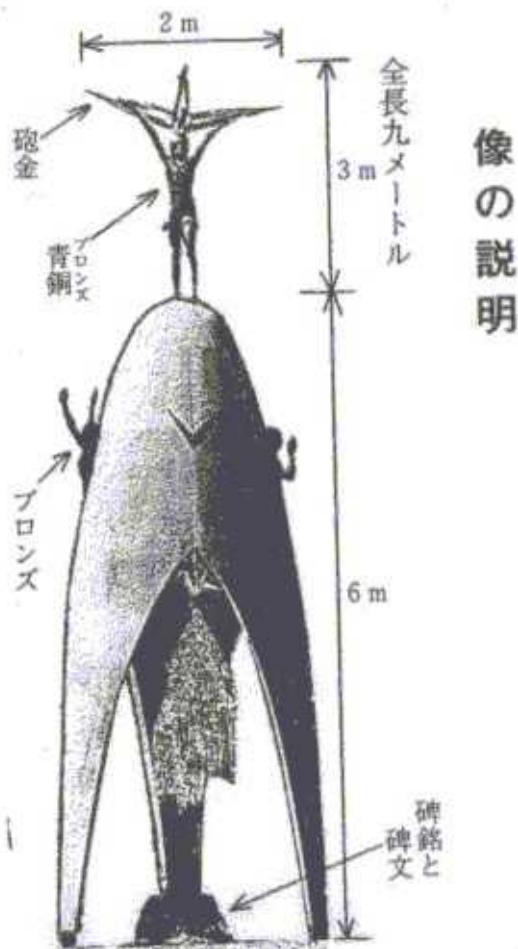
「安らかに眠ってください 過ちは繰り返させぬから」

という碑文が刻み込まれていますが、1952年11月、極東軍事裁判の弁護人であったインドのパール博士はこの碑を訪れて「原爆を落としたのは日本人ではない。落としたアメリカ人の手は、まだ清められていない」と発言したことから碑文論争が occurred。1970年には、「碑文を正す会」が、「碑文は犠牲者の霊を冒瀆している」として、碑文の抹消・改正を要求する運動をおこしました。これに対して、「誤った民族主義・軍国主義の復活をめざす『碑文改正』は許せない。核兵器使用の悲劇を二度と繰り返さぬという人類の願いと誓いが碑文には込められている」とする「碑文を守る会」などの運動が occurred。碑文の主語は誰なのか。誰が過ちを繰り返さないと言っているのか。「繰り返させぬから」か「繰り返させませぬ」かといったことが主な論争点でした。当時の山田節男広島市長も、「再びヒロシマを繰り返すなという悲願は人類のものである。主語は『世界人類』であり、碑文は人類全体に対する警告・戒めである」という見解を公表しました。

ヒロシマ平和記念都市建設法は、第六条に、広島市長の責務として「広島市の市長は、その住民の協力および関係諸機関の援助により、広島平和記念都市を完成することについて、不断の活動をしなければならない」と決めています。毎年8月6日の午前8時15分、広島市長がここから全世界へ平和アピールを出し続けるのは、このためです。

この慰霊碑の前に立つすべてに人が平和を願うことこそが慰霊碑に納められているすべての霊が望むことでしょう。

「原爆の子の像」について



「原爆の子の像」別称「千羽鶴の塔」とも呼ばれ、年中たくさんの千羽鶴がささげられています。

戦争が終わって10年たった1955年10月25日市内幟町中学校1年生の佐々木貞子さんが「鶴を千羽折れば幸せがやってくる、病気が治る」と祈りながら当時の日赤病院で1300羽以上も折ったのですが、放射能による原爆症のためわずか12歳でこの世を去りました。

学友達は突然の原爆症の発生とその死に対して深く強いショックを受け、今更のように原爆の恐怖をさみしめました。貞子さんの霊を慰め、平和を祈る心から像を作ろうという話が持ち上がり、それが全国に伝わり大きな運動となり、ついに建設の実現をみたのです。1958年(昭和33年)5月5日こどもの日に除幕されました。

建立者： 広島平和をきずく児童・生徒の会
製作者： 東京芸術大学教授 菊池一雄
「千羽鶴の鐘」字の寄贈： 湯川秀樹
設計： 東京大学工学部教授 池辺陽

V型の紅サインは正面を示すアクセサリーで、特別の意味はない。

像の三脚を支える地上の脚は硬い鋼鉄で、更にこの脚は地下2メートルに耐震構造の滑車を取り付けてある。

儀式の時は像の中央に青銅の鐘、砲金の鶴が吊り下げられる。

頂上にある金色の折り鶴を捧げ持つ少女のブロンズ像は、平和な未来への夢を託しています。側面左右二体の少年少女は明るい希望を象徴しています。

塔の内部には、少年少女たちの気持ちに感動したノーベル物理学賞の湯川秀樹博士が寄贈した古代の銅鐸を模した鐘がつられ、その下に金色の鶴がつるされ、風鈴式に音が出るようになっています。鐘の表に「千羽鶴」、裏に「地に空に平和」と湯川博士直筆の文字が浮き彫りにされています。(現在、この鐘と金色の鶴は広島平和記念資料館東館 1 階ロビーに展示されています。)その風鈴式の鐘の真下に置かれた黒御影石には、中学生の筆になる「これはぼくらの叫びです これは私たちの祈りです 世界に平和をきずくための」という碑銘がきざまれています。

建設資金は、全国 3200 余りの学校から寄せられ、イギリス人からの支援もありました。

この像には、国内外の学校などから多くの折り鶴が寄せられています。これらの折り鶴を雨露から守るため、広島市は平成 14 年 4 月 1 日に屋根付きのガラスケースで囲んだ 9 つのブースを設け、その中に折り鶴が吊るせるようにしました。折り鶴についての記録を残すため、供えた人が名前や折り鶴の数などを記載する台も 2 箇所設けました。

「原爆ドーム」について



1915年4月5日…広島県物産陳列館として竣工

同年8月5日…開館式

1933年11月1日…広島産業奨励館に改称

1944年4月1日…内務省中国四国土木出張所や広島県地方木材株式会社など官公庁や統制組合の事務所として使用されるようになった

設計者:チェコのヤン・レツル

様式:ネオ・バロック様式とセセッション様式を融合

構造:レンガ造り及び一部鉄筋コンクリート造、3階建て一部5階建て

洋風・和風庭園、噴水池(ギリシア神話に登場される神々をモチーフした彫刻)もあり

建築:約1,023平方メートル

高さ:約25メートル

利用形態:1階は主に事務所、2階・3階は陳列室

広島県内の物産の展示、即売のほか、広島県美術展覧会、博覧会・共進会などの文化的も用紙に利用



1945年8月6日…

原子爆弾がほぼ580メートル上空で爆発する

館内にいた人々は全員即死した爆風が爆発点よりほとんど垂直に働いたため、ドーム中心部は奇跡的に倒壊を免れたと考えられている

ちょうど開館30年後に被爆

「原爆ドーム」という呼び名の由来

建物の頂上天蓋の残骸が傘上になっている姿から、自然に言い出された

被爆直後の原爆ドームの様子

・爆風と熱線によって、建物の屋根や床はすべて破壊され、壁は建物の大部分において一階の上端以上がすべて倒壊

・正面中央部分が5階建てで、頂上に残った鉄骨により円蓋をもつ建物であったことがわかる程度の残骸となった



1966年12月22日…原爆ドーム取り壊しの声もある中、原爆ドームを平和の承認として永久保存するよう、多くの平和団体が広島市に要望書を提出した

同年7月11日…広島市議会が原爆ドームの保存を決定
年内に広島市の日々賭けで原爆ドーム保存のための募金活動が始まった

1967年4月10日…
第一回原爆ドーム保存工事が開始

同年8月5日…工事終了

1989年5月1日…
広島市が第2回の保存工事のための募金活動呼びかける
目標額を大きく超える4億円あまりが短期間に集まり、人々の平和への熱望が示された

同年10月31日…第2回原爆ドームの保存工事開始

1990年3月31日…工事終了



同年4月17日…当時の広島市長である荒木市長は「原爆ドームは風雪に耐えながら核兵器使用による人類自滅の危機を警告するとともに、世界の平和を訴えてきた。核兵器の被害の恐怖を物語る証人として、平和のシンボルとして、永久に保存し、次の世代に引き継いでいかなければならない」と訴えた

1996年12月5日…ユネスコの世界遺産委員会が原爆ドームを世界遺産リストへ登録することを決定
戦争遺産としてはアウシュビッツ強制収容所に次ぐ世界遺産登録である

原爆ドーム 24 時間ライブ映像のサイト

<http://www.mix-net.co.jp/live/live.html>

「GOD BREATH」プロフィール



Vocal YUJI
Guitar RYUJI
Guitar NOB
Bass NORI
Drum Yo'chan

広島市の平和公園にある「原爆の子の像」そのモデルとなった佐々木貞子。彼女は2歳で被爆し、12歳の時にその被爆が原因で白血病が発病、「鶴を千羽折れば願いが叶う」と闘病中に鶴を折りつづけたが願いも届かずこの世を去る。そのあまりにも悲しい事実で世界的に有名になってしまった。貞子の魂を継ぐ甥にあたる佐々木祐滋がボーカルを務めるバンド「GOD BREATH」。その熱い想いに現メンバー4人が加わり、現在全国の学校や施設、ライブハウス、路上などで生きる意味を貞子ともに伝えている。

ただ単に武器のない戦争のない世界が「平和」だとは思わない、人間同士がお互いの存在を認め、歩みよれる世界が本当の平和な世の中ではないだろうか。僕らの音楽でそういう事を考えるきっかけになってくれることを望むし、何より暗闇にいる人達に手を差し延べたい。たった一つしかない命、一度しかない人生をかみしめて、倒れては立ち上がる「勇気と希望」を与えられるそんな音楽をこれからも一人でも多くの人に届けていきたい。

GOD BREATH

<http://park3.wakwak.com/~godbreath/>

参考文献

- 「図録 ヒロシマを世界に」 広島平和記念資料館
- 「ヒロシマ読本」 小堺吉光
- 「『原爆の子の像』と『折鶴』」 豊田清史
- 「バーチャル 原爆モニュメントめぐり モデルコース」 ホームページ
<http://www.hi.hkg.ac.jp/peace/jp/model.html>

おわりに

我々は、「原爆は悪いモノ」、「戦争はしてはいけない」、「平和な世界を築かなければならない」...そういうことは子供の頃から教えられ、わかっているつもりです。

では...

本当の意味での「平和」って何でしょうか？
「平和」というのは一義的なものなののでしょうか？
日本は「平和」だといえますか？それはなぜ？
これをすれば平和であるとか、これがないと平和でない等と言える物質的なものは存在するのでしょうか？

あなたは戦争を繰り返さないために何をしていますか？
また、何ができるのでしょうか？
そもそもなぜ戦争は起きるのでしょうか？
努力次第でなくせるものなののでしょうか？

核兵器をなくすためにはどうすればいいと思いますか？
核兵器が悪いとわかっていて保有し続ける国があるのはなぜでしょうか？それによってメリットがあるからでしょうか？
原子力発電は捉え方によっては核兵器の材料をつくっているともいえませんか？原子力発電の恩恵を受けている我々はその点をどう考えればいいのでしょうか？

これらに「正解」はありません。もしどこかの偉い専門家の先生がおっしゃっていたとしても、それはあくまでその方なりの「答え」です。それは正解ではありません。

みんなで一緒に考えてみませんか？自分とは違った見方をしている人に出会えるかもしれません。そして、是非もう一度自分の中で考えてみてください。そうやってあなたなりの「答え」を見つけてみてはいかがでしょうか。

最後になりましたが、本資料を最後までお読みいただきまして誠にありがとうございます。千羽鶴例会でたくさんのモノを得ていただけたと思います。

広島ローターアクトクラブ一同、あなたのお越しを心よりお待ちしております。

2005-2006 年度
国際ロータリー第 2710 地区ローターアクト
広島ローターアクトクラブ